第五講　『発心集』（仏教説話）

次の文章を読んで後の設問に答えよ。

（注1）八幡別当頼清が（注2）遠流にて、永秀法師といふ者ありけり。家貧しくて、（1）心すけりける。夜昼、笛を吹くより外の事なし。かしかましさにたへぬ隣り家、やうやう立ち去りて後には、人もなくなりにけれど、（2）さらにいたまず。さこそ貧しけれど、落ちぶれたる振る舞ひなどはせざりければ、さすがに人いやしむべき事なし。頼清聞き、あはれみて使ひやりて、「などかは何事ものたまはせぬ。かやうに侍れば、（3）さらぬ人だに、事にふれてさのみこそ申し承る事にて侍れ。（4）うとくおぼすべからず。便りあらん事は、憚らずのたまはせよ」といはせたりければ、「返す返す、かしこまり侍り。年来も申さばやと思ひながら、身のあやしさに、かつは恐れ、かつは憚りてまかり過ぎ侍るなり。深く望み申すべき事侍り。すみやかに参りて申し侍るべし」といふ。「何事にか、よしなき情をかけて、（5）うるさき事やいひかけられん」と（イ）思へど、「彼の身のほどには、いかばかりの事かあらん」と（6）思ひあなづりて過す程に、ある片夕暮れに出で来たれり。則ち出で合ひて、「何事に」など（ロ）いふ。「あさからぬ所望侍るを、思ひ給へてまかり過ぎ侍りし程に、（7）一日の仰せを悦びて、左右

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

なく参りて侍る」といふ。「疑ひなく、所知（注3）など望むべきなめり」と思ひて、これを尋ぬれば、「筑紫に御領多く侍れば、漢竹（注4）の笛の、事よろしく侍らん一つ召して給はらん。これ、身に取りてきはまれる望みにて侍れど、あやしの身には得がたき物にて、年来（としごろ）えまうけ侍らず」といふ。

(8)思ひの外に、いとあはれに(ハ)覚えて、「いといとやすき事にこそ。すみやかに尋ねて、(9)奉るべし。その外、御用ならん事は侍らずや。月日を送り給ふらん事も心にくからずこそ侍るに、さやうの事も、などかは承らざらん」といへば、「御志はかしこまり侍り。されど、それは事欠け侍らず。二三月に、かく帷（かたびら）一つまうけつれば、十月までは、さらに望むところなし。又、朝夕の事は、おのづからあるに任せつつ、とてもかくても過ぎ侍り」と(ニ)いふ。

「げに、すきものにこそ」と、あはれにありがたく覚えて、笛いそぎ尋ねつつ送りけり。

（鴨長明『発心集』による）

（注）
1　八幡別当―石清水八幡宮の別当。
2　遠流―遠い親類。
3　所知―領地。
4　漢竹―中国原産の竹をいい、多く笛に用いた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）の現代語訳として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　風流心があった　2　心がすさんでいた　3　探求心が旺盛であった
4　依頼心が強かった　5　心に信念を持っていた

問二　傍線部（2）の現代語訳として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　まったく家は壊れなかった　2　まったく病気が回復しなかった
3　まったく気にしなかった　4　ますます同情されなかった
5　ますます動きようがなかった

問三　傍線部（3）「さらぬ人」とはどういう人か。次の中から最も適当なもの一つを選べ。

1　笛を吹かない人　2　隣家から出て行かない人
3　出家しない人　4　何も言わない人
5　縁もゆかりもない人

問四　傍線部（4）の現代語訳として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　つらく　2　よそよそしく　3　不満に
4　心配に　5　不思議に

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　傍線部（５）の意味として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

１　騒音のこと　２　引っ越しのこと　３　許せないこと
４　面倒なこと　５　訴訟のこと

問六　傍線部（６）について、なぜそう思ったのか。次の中から最も適当なもの一つを選べ。

１　遠い親類だから　２　畏れ多いから
３　身分が低いから　４　健康状態が良くないから
５　ぜいたくに暮らしているから

問七　傍線部（７）の指している部分として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

１　「などかは・・・・・憚らずのたまはせよ」
２　「返す返す・・・・・申し侍るべし」
３　「何事にか・・・・・いひかけられん」
４　「彼の身の・・・・・事かあらん」
５　「何事に」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　傍線部（8）について、なぜ「思ひの外」だったのか。次の中から最も適当なもの一つを選べ。

1　思ったよりも簡単だったから
2　思ったよりも高価だったから
3　思ったよりも笛が上手だったから
4　思ったよりも難しそうだから
5　思ったよりも遠くにあるものだったから

問九　傍線部（9）を十字以内で現代語訳せよ。（句読点は不要）

問十　二重傍線部（イ）〜（ニ）はそれぞれ誰の動作・行為か。次の中から最も適当なものを一つずつ選べ。ただし、同じ番号を二度以上用いてもよい。

1　頼清　2　永秀　3　隣家の人　4　筑紫の人　5　筆者

（イ）＝　（ロ）＝　（ハ）＝　（ニ）＝

問十一　波線部「られ」の文法上の意味は何か。次の中から最も適当なもの一つを選べ。

1　尊敬　2　可能　3　受身　4　自発　5　推定

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講　『発心集』（仏教説話）

①　『発心集』の作者の作品を次の中から一つ選べ。

ア　枕草子　　イ　方丈記　　ウ　徒然草　　エ　山家集　　オ　無名草子

②　「うとし」の単語の意味を次の中から一つ選べ。

ア　つらい　　イ　疎遠だ　　ウ　不満だ　　エ　心配だ　　オ　不思議だ

③　「うるさし」の単語の意味を次の中から一つ選べ。

ア　やかましい　　イ　引っ越しする　　ウ　許せない　　エ　わずらわしい　　オ　うるわしい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講
〔解答〕

問一　1　**問二**　3　**問三**　5　**問四**　2　**問五**　4　**問六**　3
問七　1　**問八**　1　**問九**　差し上げましょう（八字）
問十　（イ）1　（ロ）1　（ハ）1　（ニ）2　**問十一**　3

〔現代語訳〕

八幡別当頼清の遠い親類で、永秀法師という者がいた。家は貧しくて、風流心があった。夜となく昼となく、笛を吹くよりほかのことはなかった。（その笛の音の）やかましさに耐えられない隣の家が、次第に立ち去った後には、（周りに住む）人もいなくなってしまったが、全く気にしなかった。いくら貧しくても、落ちぶれた（者のするような卑しい）振る舞いなどはしなかったので、そうはいっても（貧しくても）やはり人が軽蔑することはなかった。頼清が（この永秀法師のことを）聞き、同情して使いの者をやって、「どうして何もおっしゃらないのですか。（私は）こうして（八幡の別当をして）いますので、縁もゆかりもない人でさえ、何かにつけてご依頼がございますのに。（私を）よそよそしくお思いくださいますな。頼りにするようなときは、遠慮なくおっしゃってください」と言わせたところ、「何ともまあ、恐縮いたします。数年来申し上げたいと思いながら、わが身の卑しさを思い、一方では恐縮し、一方では遠慮して（日を）過ごしてまいりました。（実は）切にお願い申し上げたいことがございます。すぐに参上して申し上げるつもりです」と言う。「何事であろうか、つまらない同情をして、面倒なことでも言い掛けられるのだろうか」と思うが、「彼の生活程度では、どれほどのことがあろうか」と高をくくって過ごすうちに、ある（日の）夕暮れ近くに、（永秀が）やって来た。すぐに面会して、「何のご用ですか」などと言う。「浅くない望みがありますのを、思いまして過ごしておりましたところ、先日のお言葉を喜んで、ためらわず参上しました」と言う。「（これは）疑いなく、領地などを望むのに違いないようだ」と思って、望みを尋ねると、「筑紫にあなたの領地が多くございますから、（そちらの）漢竹の笛で、よい出来のものを一つお取り寄せになっていただきたいのです。これが、私にとって最高の望みで

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ございますが、（私のような）卑しい身には手に入れるのが難しいものでございまして、長年入手できません」と言う。

意外なことで、たいそうしみじみと思われて、「（それは）たいそうたやすいことです。早速探し求めて、差し上げましょう。そのほか、ご入用であるようなものはございませんか。月日をお送りなさるような（日常生活にかかわる）ことも困っているようですが、そのようなことも、どうしてお引き受けしないことがありましょうか」と言うと、「お気持ちはありがたく存じます。しかし、そうしたことに関しては何の不足もございません。二月か三月に、このようにひとえの着物を一枚用意したので、十月までは、（それ以上）全く望むこともございません。また、朝夕の食べ物は、成り行きにまかせて、どうにかこうにか過ごしております」と言う。

「なるほど、風流人であることよ」と、（頼清は）しみじみとめったにない（すばらしい）ことに思われて、笛を急いで探し求めて（永秀に）送った。

〈重要単語〉

○すく【好く】…①**好色である**。②**風流である**。
○かしかまし…**やかましい**。うるさい。※「かしがまし」とも。
○やうやう…①**だんだん**。しだいに。②**かろうじて**。やっと。
○さすがに…**そうはいってもやはり**。そうはいうものの。
○うとし【疎し】…①**親しくない**。②よく知らない。③無関心だ。
○かしこまる【畏まる】…①**恐れ慎む**。恐縮する。②謝罪する。
○としごろ…長年。**数年来**。※「つきごろ…数か月、ひごろ…数日」もセットで覚える。
○あやし…①**不思議だ**。②**見苦しい**。③**身分が低い**。
○よしなし【由無し】…①**理由がない**。②**手段がない**。③関係がない。④無益である。⑤**つまらない**。
○うるさし【煩し】…①**わずらわしい**。②いやみだ。③立派だ。
○さうなし【左右無し】…①**どうとも決まらない**。②言うまでもない。**ためらわない**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

○まうく…①**準備する。**　②持つ。　③利益を得る。
○あはれなり…①**しみじみと～だ。**　②気の毒だ。　③**趣深い。**　④かわいい。
○やすし【易し】…**簡単である。**
○げに【実に】…①現実に。　②**本当に。**
○すきもの【好き者】…①**風流な人。**　②**好色な人。**
○ありがたし【有り難し】…①**めったにない。**　②（めったにないほど）すぐれている。　③**生きながらえにくい。**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第五講　『発心集』（仏教説話）

〔解説〕

① 鴨長明の代表三作品『発心集』（説話）・『方丈記』（随筆）・『無名抄』（歌論書）は覚えておくこと。

② 漢字で【疎し】で覚える。

③ 同じく漢字で【煩し】。

〔解答〕

①イ　②イ　③エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。